

東京大学の軍事研究禁止の原則を再確認しよう！ 参加の皆様
ご苦労様です。

東京大学は先の戦争の反省を以て、
東京大学の良心として軍事研究禁止を掲げてきたと思っております。

現在も

大学の教育・研究の環境は厳しいものがあります。
研究継続のため資金が必要な状態に追われ、外部資金に応募しております。
形を変えて研究プロジェクト・研究資金があり、研究テーマを見るだけでは軍事研究とは思えないものがあります。

人類に役立つ研究、未来投資の研究と信じて行っている方が多いと思います。
軍事研究も民生研究も研究形態は同じです。
成果の使用方法によって軍事研究になり得ます。

私たちの職場である生産技術研究所は、そもそも第2次大戦中の1942年に軍事研究を行うために作られた「東大第2工学部」を母体として発足した研究所です。

現在でも真っ先に軍事研究に協力させられる危険が高い職場だと言えます。
だからこそ、教員・研究者・職員は自分の研究や仕事が本当に国民のために役立っているのか、軍事のために利用されていないかどうかについて、誰よりも注意が必要なのです。

東京大学の

軍事研究禁止の原則を再度認識し、大学教員・研究者の良心に訴えます。